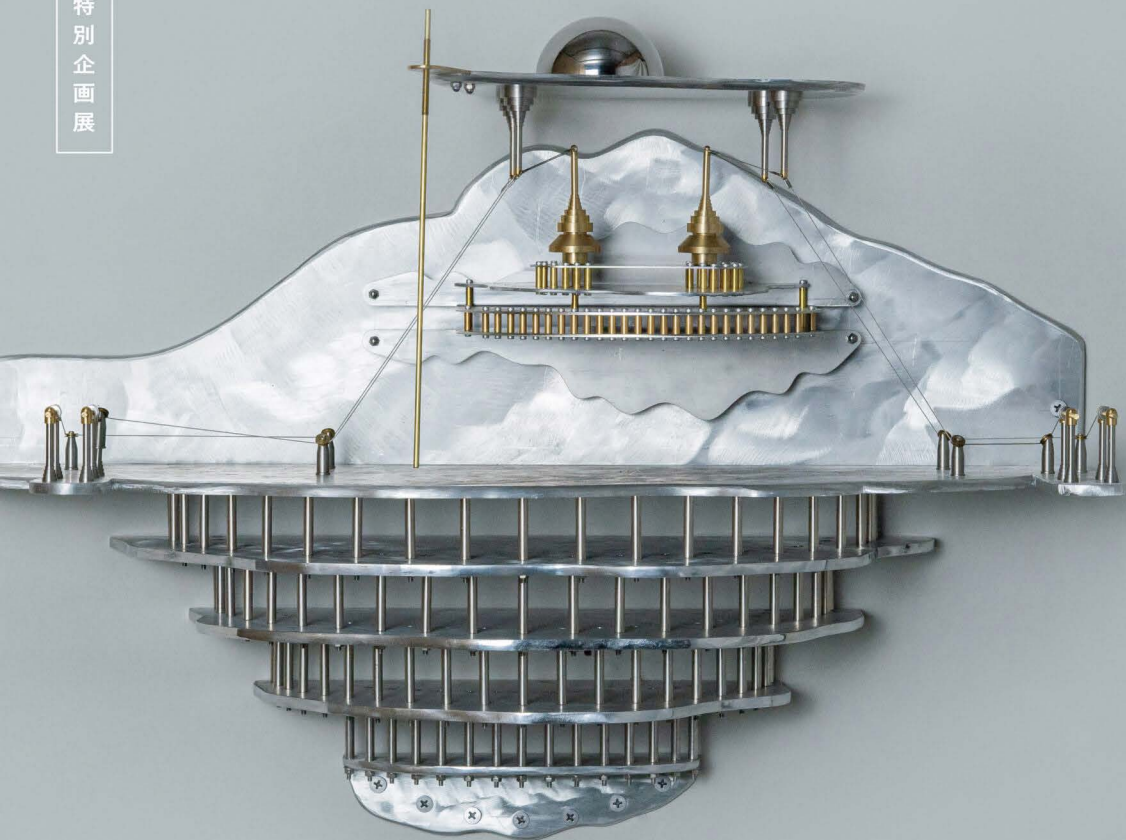


特別企画展

TC 8905 X NIIHARI Project I (2021)



MORIO SHINODA Subconscious

彫刻家 篠田守男 — Subconscious —

2021.10/9土 → 12/19日

入館料 大人 700円
高校生 300円
小中学生 150円
障がい者手帳をお持ちの方は半額

入館時間（最終入館）
10月 9:00~17:10
(16:40)
11月 9:00~16:10
(15:40)
12月 9:00~16:10
(15:40)

休館日（会期中）
10月 無休
11月 1・4・8・15・24・29日
12月 6・13日

碌山美術館
Rokuzan Art Museum

主催
公益財団法人碌山美術館



張力と重力を
素材にした彫刻。

篠田守男(1931~)は「tension & compression」をコンセプトに、現代美術の第一線で活躍し続ける彫刻家です。

このコンセプトは、1958年のバックミンスター・フラーの建築理論との出会いから発想を得たものです。他に類をみない独創的表現は、1966年のヴェネツィア・ビエンナーレ出品にみられるよう国際的にも高く評価されています。

篠田作品の大きな特徴は、張力をかけたワイヤーを構造体にして作品の一部を浮遊させる、幾何学的な構造と金属素材が醸し出す緊張感にあると従来みなされています。そのため、作品に潜在する自然風景や肉体のライン、星の軌道をモチーフとした有機的な要素、すなわち篠田の自然観に目を向けることはあまりありませんでした。

ところが篠田の制作ノートをひとつと、独自の自然観照が伺える文章が散見され、80年代中頃からは「世阿弥」や「雲」「借景」などの言葉を作品タイトルの副題に用いて、禅文化にみられる日本古来の自然観照への共感を表しています。自然観は篠田芸術を語るうえで不可欠な要素なのです。

本展では、1958年以前の石彫作品から最新作までの作品と資料を合わせて約50点展示し、これまでの作家活動を自然観という観点とともにあらためて振り返ります。90歳を迎えてもなお制作意欲の衰えない篠田守男の芸術をご覧ください。



Morio Shinoda

協賛(サポートメンバーシップ参加法人)
株式会社アイデアナジール
医療法人篠崎医院
清水建設株式会社
株式会社としま薬局
株式会社中村屋
医療法人仁雄会穂高病院

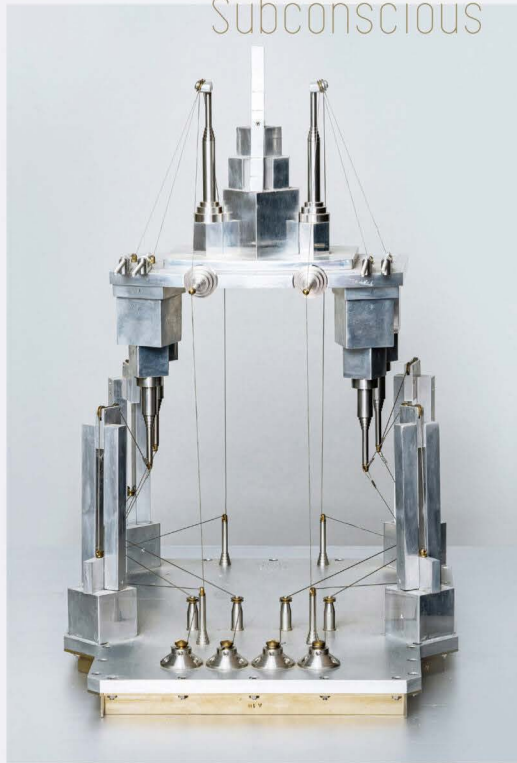
助成団体
公益財団法人 花王 芸術・科学財団
公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団
デザイン・写真撮影 小菅謙三(空のアトリエ)

後援
長野県教育委員会/安曇野市/安曇野市教育委員会/安曇野市教育会/
信濃毎日新聞社/市民タイムス/MGプレス/SBC信越放送/NBS長野放送/
TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/

問い合わせ
碌山美術館 〒399-8303 長野県安曇野市穂高5095-1 ☎ 0263-82-2094

左/ET 72X (1967)
右/TC 8414 シュヴァンクマイエルの不思議な世界 (2016) 個人蔵

割引券
Discount Ticket
5名様まで団体料金
碌山美術館



— 記念対談

「篠田守男の彫刻空間と禅の美」

日時 10/9(土) 13:30~

対談者 篠田守男/臨済宗大徳寺派 酬恩庵一休寺 住職 田邊宗一師

参加費 無料

会場 穂高神社内「参集殿」※駐車場有り

— ワークショップ 篠田守男のインスタレーション作品を展示します。

「篠田守男と一緒に作って飾ろう」

日時 10/10(日) 13:30~15:00 ※雨天の場合 10/11(月)に順延

参加費 無料

会場 碌山公園芝生にて(碌山美術館隣接施設)

持ちもの ハサミ ※小学生以下のお子様は保護者同伴でご参加ください。

— 問い合わせ 碌山美術館 ☎ 0263-82-2094

— アクセス

お車でのお越しの場合

長野道(安曇野I.C)より約15分

無料駐車場、美術館向かいに

乗用車120台・大型バス3台あり

電車でお越しの場合

JR大糸線「穂高駅」より徒歩7分

<http://rokuzan.jp/>



MORIO SHINODA Subconscious